

会議名 (審議会等名)		社会福祉審議会児童育成専門部会		
事務局 (担当課)		健康福祉部 すこやか子ども室 内線(2683)		
開催日時		平成16年6月28日(月)13時30分~14時45分		
開催場所		庁議室		
出席者	委員 (敬称略)	西尾祐吾、吉村真美、森實里子、平岩かずえ、南博美、土井由紀子、熊田早苗、松本陽子、伊賀和夫、喜谷千恵美、橋本香代子、森友潔、石川健次、高橋康子、小島澄江		
	その他	(株)サーベイリサーチセンター		
	事務局	健康福祉部長、すこやか子ども室長、主幹、副主幹		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		辞令交付 委員紹介 川西市社会福祉審議会規則の改正及び会議の公開について 部会長及び職務代理者の選任について 川西市次世代育成支援対策行動計画の策定について		
会議結果		部会長には西尾委員、職務代理者には喜谷委員が就任。 詳細は、審議経過のとおり		

部会長	<p>社会福祉審議会の委員で児童福祉の専門ということで、私が当部会の部会長を仰せつかった。この部会の運営にあたっては、できるだけ多くの市民の意見を聞き、市民のニーズを反映した計画を作るということに重点をおき、真に住民参加率を上げたいと思っている。委員に女性が多いということは、部会の性質上まことにうれしく思う。</p> <p>私たちは、少子化の社会的な影響を優先して考えてしまいがちだが、そうではなく、少子化が子どもの健全な発達成長にどのような影響を及ぼすかという、子どもの立場からみた議論をしたい。そして、委員各位の協力により、健全育成に関する立派な計画ができることを期待している。</p>
事務局	<p>計画策定の趣旨・経緯について（説明） ニーズ調査結果について（説明） 数値目標の設定について（説明）</p>
部会長	<p>数値目標の設定に関する資料について簡単に説明していただきたい。放課後児童については、小規模なものが16年度に2カ所、大規模なものが14カ所新たにできるという意味か。</p>
事務局	<p>放課後児童育成クラブについては、既に市内で16カ所実施しているので、そのまま継続するという意味である。</p>
部会長	<p>これは新設ではなく、既存するクラブ数を維持していくということか。</p>
事務局	<p>そういうことである。</p>
部会長	<p>同様の質問であるが、資料3枚目の保育所の方はどうか。公立については、19年度までは9カ所、20年度からは1カ所減らして8カ所にする理解してよいか。</p>
事務局	<p>その予定で検討を進めている。</p>
部会長	<p>この表の見方をご理解いただいた上で質問があればどうぞ。</p>
事務局	<p>これは現在において担当として考えている数字である。すべて国・県の補助対象の事業になるかと思われるが、先ほどご説明したように、今後、県全体の行動計画を作るため、8月末頃を目途に、県からの指摘等によって多少数字が動く可能性はあると思う。</p>

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

部会長	<p>川西市としてはこういう構想を県に報告した。県が、県下全域を調整してどのような配分にするかまだ決まっていないが、決まった段階でこの部会に報告していただくことになるかと思う。</p> <p>この資料の見方について特にご質問がなければ、川西市の子どもと子育て家庭を取り巻く現況についての説明をお願いしたい。</p>
事務局	川西市の子どもと子育て家庭を取り巻く現況について（説明）
部会長	<p>川西市における人口の動向について、（４）の「合計特殊出生率」が川西市では1.1（H14）であるということをお記憶していただきたい。ご承知のとおり、全国では1.29（H15）で大騒ぎしているが、このままいくと3年後には日本の人口は減り始める。人口学者が推計したところによると、このまま人口が減っていくと約100年で日本の人口は半分くらいになると言われている。半分になったら良いのか悪いのかわからないが、考えていただきたいところである。</p> <p>もう一点は「晩産化」である。女性が子どもを出産する上で、身体への負担を考えるとやはり20歳代が最も適していると言われている。一方、出産する母親の平均年齢は30歳から34歳が非常に多いという現状である。</p> <p>三点目は資料4ページ、祖父母と同居していない家族、裏返すと「核家族」が85%を占めているという川西市のこの数字が、全国と比べてどうなのかということである。全国的には核家族がどんどん増えてきて60%を越えたようであるが、85%というのは全国平均と比べて特徴的であると思う。</p> <p>ご質問がなければ、今後のスケジュールについてご説明願いたい。</p>
事務局	今後のスケジュールについて（説明）
部会長	計画策定の最終的なデッドラインは3月でよいのか。
事務局	工程表にあるように、当部会が完成した計画として提出するのは2月末ないしは3月上旬頃である。
部会長	<p>各委員におかれては、そのつもりでお願いしたい。</p> <p>事務局からの説明が一通り終わったので、全体を通じてご質問があればいただきたい。</p>
委員	資料5の保育所の数値目標について、公立が現在9カ所で20年度には8カ所になっている。これは1カ所廃園するのか、それとも民営化するということなのか。

事務局	<p>あくまで現時点での予定であり、一応民営化に向けた検討を進めている中で、そのぐらいの時期に1カ所は減になるのではないかと頭に入れながら数値をあげたという状況である。</p> <p>事務的な動きとして、このぐらいの時期に新設の民間保育所も1園か2園加えさせていただいている。全体的な保育所整備において、現在13カ所整備されているものにあと2カ所増設し、計15カ所くらいが必要になるのではないかと頭に入れている資料として作成したものである。</p>
委員	<p>16年度において、民間は何カ所くらいなのか。</p>
事務局	<p>公立9カ所、民間4カ所である。平成17年から21年の5年間をみると、一つの案ではあるが、バランス的な整備という点で公立8カ所、民間7カ所、計15カ所となる。したがって、あと2カ所の整備が必要と考えるが、これは絶対的なものではない。保育所を整備しても待機児童が減らないといった問題もあるので、まだ数字は固まっていないとご理解いただきたい。</p>
委員	<p>公立保育所のうち1カ所を民間移行することがあるかもしれないということだが、待機児童がたくさんいる中で、民間に移行していった公立を減らすという案を提示された理由を聞かせてほしい。</p>
事務局	<p>民間活力の導入の一環で、15年度スタートした総合計画の中でも「保育所の民営化検討」が明記されている。ただし、民間活力の推進と同時に、待機児童を抱えていく上で保育所全体の整備、あるいは保育定員数の確保を少子化対策として進めていかなければならない。それらを併せ持った一つの素案として、官と民のバランスを考えながら全体的に整備していくものと理解していただきたい。</p>
委員	<p>次世代育成支援に関する部分だが、民営化は業者の公的責任があった上に展開していくものだと思っている。公立保育所を民間移管していくことについては疑問に思う。川西市の保育の水準がここまで維持できているというのは、民間が少なく、公立がその分の役割を担ってきているからである。だから、“全体的にみて”と言われるが民間と公立ではかなり違ってくると思う。かかっている経費がずいぶん違う。その辺りで、民間が増えて公立が減るといふことにちょっと疑問を感じる。</p>
事務局	<p>民間が安いから民間に移行、という位置づけではなくて、民間は民間の特色、公ではできない民間の役割を担う必要があると理解している。民営化するにあたって民の役割と民の質の確保が必要なので、効率化を図るためのみ</p>

部会長	<p>で民に移行しようとは思っていない。あくまでも民は民の役割、特色を出し、公は公の特色をどう位置づけるかということも含めて、今から総合計画の検討課題に載せていきたいという思いである。</p> <p>立場によって考え方が異なる難しい問題である。市の肩を持つわけではないが、戦後今ほど自治体の財政が苦しいときはない。この問題に限らず、否応なしに合理化が推し進められていくだろう。その時にどのようなバランス感覚で対処していくのかということ委員の方々もよく考えていただきたい。</p>
委員	<p>病後児保育についてであるが、平成6年度から国の方針が出され、平成16年で500市町村を目標にしているが、実際には様々な問題があり、現在のところ251市町村しか実施できていない。</p> <p>仕事をしているお母さんが最近多くなっているのに、自分の子どもが病気になったら仕事を休まざるを得ないという現実がずっとある。今までは周りで誰かにみてもらえたり、祖父や祖母にもみてもらっていた。しかし最近はそのようなことが少なく、会社では状況を理解してくれないため重要なポストも与えられないなど、女性に不利な状況になっている。このようなことから、病後児保育を川西市でもできるだけ早く整備したいところである。</p> <p>病後児保育の実施には様々な方法があるが、一つは民間を利用することである。しかし、今の施策はどちらかというとお年寄り重視になっていて、乳幼児に対する支援というのは結局少ない。やれば経営上成り立つかという非常に難しい状況である。広さや施設があれば私のところでもやってもいいと思うが、そのために土地を確保したり建物を建てたりというのは難しい。</p> <p>資料をみると、病後児保育の目標として民間1カ所としているが、例えばこれを市の空いているスペースでできないものか。そう簡単にそんな場所はないだろうが、民間を当てにするよりは、公立の保育所内などを利用したい。できるだけ早く整備して、若い世代を支援していけたら良い。</p>
部会長	<p>ほかに質問はないか。</p>
委員	<p>川西市の医師会では、病後児保育に対して協力してもらえるのか。</p>
委員	<p>医師会に乳幼児委員会というのがあって、昨年もこの問題を協議したが、実際はなかなか困難である。ただ、委員会の中では、何とかしないといけないという認識がある。</p>
部会長	<p>本日はこの辺りで閉会させていただきたい。次回の日程については後日ご連絡させていただく。 (閉会)</p>